



中学生議会

広

陵

町

議会 だより

 No.91

平成 27 年 11 月 1 日

目次

2	決算審査
4	第3回定例会
9	町政を問う一般質問
16	委員会の窓
18	中学生議会を開催
20	意見書
22	議会日誌

歳出
総額

101億109万円

決算
審査

徹底チェック!

何に使ったの?



つぎのように使われました

平成27年3月31日現在の人口(34,919人)で計算すると

町民1人当たり **289,272円**

認定

平成26年度決算
どう活かされた私たちの税金

一般会計	内容	町民1人当たりに使われたお金
議会費 1億3,105万円	議会の運営経費	3,753円
総務費 10億7,733万円	企画調整、財務財政および安全対策等	30,852円
民生費 34億8,721万円	老人・障がい福祉、児童福祉、医療費助成等	99,866円
衛生費 12億4,823万円	清掃事業、環境対策、健康増進等	35,746円
農商工費 1億7,013万円	農業、商工業、観光等の振興経費	4,872円
土木費 8億1,772万円	道路、公園、町営住宅等の維持管理や建設費	23,418円
消防費 5億450万円	消防費に関する経費	14,448円
教育費 9億9,762万円	小中学校、幼稚園の管理運営、生涯学習、文化財保全等	28,570円
災害復旧費 0万円	農林業用施設、公共土木施設に関する経費	
公債費 14億946万円	建設事業等のために借り入れたお金を返済する	40,364円
諸支出金 2億5,784万円	その他の支払い	7,384円
予備費 0万円	平成26年度予算不足が生じ流用	

平成26年度 主な事業

福祉事業

地域巡回型健康教室
障害福祉計画策定事業



社会資本整備総合交付金事業



公共交通運行事業



特別史跡巢山古墳整備事業



一般会計

歳入総額 107億2,073万円

どこからお金が入ったの？

皆さまから納めていただく町民税、固定資産税、軽自動車税など

54億 79万円 [自主財源]

国や県から割り当てられる補助金や交付金

53億 1,994万円 [依存財源]

歳入歳出差引残高 6億1,964万円

繰越明許費 5,313万円

実質収支額 5億6,651万円

※繰越明許費とは……年度内に終わることのできない支出を、次年度に繰り越す経費

町税や使用料などの収納状況

項目	収入額	収納率(現年)
町民税	21億 308万円	99.63%
固定資産税	15億6,086万円	99.62%
軽自動車税	5,693万円	99.72%
たばこ税	1億7,530万円	—
住宅使用料	1,299万円	99.80%
国民健康保険税	8億4,584万円	97.95%

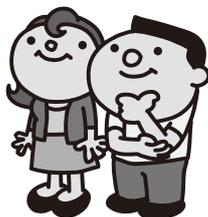
財政健全化判断比率

平成26年度	
実質赤字比率	—
連結実質赤字比率	—
実質公債費比率	12.3
将来負担比率	57.0

[用語解説] 「—」の表記は黒字であるため

- ◇実質赤字比率
一般会計の赤字の割合(14%以下)
 - ◇連結実質赤字比率
全ての会計の実質赤字の割合(19%以下)
 - ◇実質公債費比率
借金返済額の割合(25%以下)
 - ◇将来負担比率
将来負担すべき実質的な負債の割合(350%以下)
- ※()内の基準を超えると財政上の制限が掛かる。

採決結果 賛成多数で可決すべきものと決しました



各特別会計の決算状況

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	34億4,419万円	35億4,238万円
後期高齢者医療	2億9,188万円	2億9,069万円
介護保険(保険事業)	20億2,638万円	19億9,544万円
(介護サービス事業勘定)	1,388万円	1,348万円
下水道事業	10億5,183万円	10億5,030万円
墓地事業	1,457万円	1,457万円
学校給食	1億8,954万円	1億8,954万円
用地取得事業	1,959万円	1,959万円

会計名	収入	支出
水道事業(収益的収支)	8億7,024万円	8億9,733万円

政務活動費について

広陵町議会では、年度当初に月1万円を12カ月分事前交付し、年度末に精算していただく方法で支給しており、参考書籍の購入、地方自治のためのあらゆる研修会参加費等として使用しており、使用できない分は返還しています。平成26年度は、14人に168万円交付し、905,842円の実績となっています。



決算状況の詳細は
広報「こうりょう」
10月1日号に
掲載されています。

平成27年
第4回
臨時会
8月27日

審議結果は次のとおりです。

議案第42号 平成27年度広陵町一般会計補正予算(第2号)

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 町長は「中学校給食は自校方式で」との公約を放棄したもので、これではいい給食が実行できる見込みが持てない。公約を守ってほしい。

賛成討論 当初予算の見方が甘く、そのため切り詰めた設計となった。設計の見直しにより、増額補正と工期の延長を行うことは必要であり賛成。

議案第43号 広陵町庁舎耐震補強等工事に係る請負契約の締結について

採決結果 全員一致で可決

平成27年
第3回
定例会
9月1日~9月15日

審議結果は次のとおりです。

人事

議案第44号 広陵町監査委員の選任につき同意を求めることについて

赤銅 修 (馬見南)

採決結果 全員一致で同意

議案第45号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

吉川 寛子 (馬見中)

採決結果 全員一致で同意

条例

議案第46号 広陵町個人情報保護条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 マイナンバー制度の導入を前提にした提案だ。年金情報のように個人情報が必要な手段によって漏洩するリスクが増し、預金や健康診断結果まで守備範囲を広げようとしている国民にとって危険な制度である。

賛成討論 特定個人情報の管理は、外部から侵入できないもので、職員も推進委員会を設置し情報点検を行うなど、対策は万全である。

議案第47号 広陵町手数料徴収条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 (第46号議案の反対討論に同じ)

賛成討論 マイナンバー制度に伴う通知カード・個人番号カードについて、紛失などのための再交付の手数料金として、適当である。

議案第61号 国保中央病院組合規約の変更について

採決結果 全員一致で可決

予算

議案第48号 平成27年度広陵町一般会計補正予算(第3号) 【502万5千円増額】

採決結果 全員一致で可決



議案第49号 平成27年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

【319万2千円増額】

採決結果 全員一致で可決

議案第50号 平成27年度広陵町介護保険特別会計補正予算(第2号)

【3,107万8千円増額】

採決結果 全員一致で可決

議案第51号 平成27年度広陵町学校給食特別会計補正予算(第1号)

【72万円増額】

採決結果 全員一致で可決

報告

報告第12号 平成26年度広陵町財政健全化判断比率の報告について

広陵町の平成26年度の決算は、黒字であり実質公債費比率・将来負担比率も健全な範囲との報告がありました。

請願

請願第2号 集団的自衛権の憲法解釈と安全保障法制改正案に関する請願書

請願の趣旨

2014年7月の閣議決定『集団的自衛権』の憲法解釈を支持することを求める。

2015年5月の閣議決定、安全保障法制改正案を支持することを求める。

採決結果 賛成多数で認定

反対討論

集団的自衛権の容認を盛り込んだ改定は殆どの憲法学者・元内閣法制局長官及び元最高裁長官から憲法違反と断罪されている。500名を超える町民の会からも廃案を求める陳情を受けている。

賛成討論

日本の平和を継続するうえで、アジア等の情勢は不安定であり、閣議決定された安全保障法制改正案を支持する請願書に賛成。

議員提出議案

議員提出議案第14号 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書について

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第15号 教育現場の実態に即した教職員定数の充実に関する意見書について

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第16号 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書について

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第17号 安全保障法制改正案の慎重審議を求める意見書について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論

請願第2号と同じテーマであり、請願では推進を求め、この意見書では慎重審議では二枚舌ではないか。憲法違反の法案は廃案が相当だ。

賛成討論

新3要件で他国防衛は認められない。国の方が一に備え安全保障体制を整備することは必要である。

決算

議案第52号 平成26年度広陵町一般会計歳入歳出決算の認定について

「詳細はp2・p3をご覧ください」

採決結果 賛成多数で認定

反対討論

消費税率を5%から8%に上げること何らの抵抗もしていない、住民の要望であるゴミ袋の無料化に答えていない、住民の移動を容易にするデマンド交通実施には熱心でないなど町民の願いに背を向けている。

賛成討論 消費税率改正は、社会保障の財源を確保し、少子高齢化を迎えている我が国に必要な施策。主要な事業を丁寧に執行している。



議案第53号 平成26年度広陵町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

採決結果 賛成多数で認定

反対討論 増税により払いたくても払えない高額の国保税を課している。納税困難者にはもつと丁寧な対応が必要だ。

賛成討論 医療保険制度の改革により、平成30年度から県と市町村が共同保険者となるため、累積赤字の解消に税の見直しは必要。

議案第54号 平成26年度広陵町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

採決結果 賛成多数で認定

反対討論 社会保障制度の適用を年齢で差別する制度であり国民健康保険や被用者保険に戻すべきである。このままではさらに高額な保険料となる。

賛成討論 75歳以上の方が対象で、制度も定着しており、健康増進のための事業を盛り込み、適正に執行している。

議案第55号 平成26年度広陵町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

採決結果 賛成多数で認定

反対討論 「増税分はすべて社会保障に使用する」と言いながら月額掛金を400円も増額した。介護サービスの縮小や利用料増も心配される。

賛成討論 一次予防事業として生活機能の維持向上のための取り組みを、二次予防事業として運動機能向上のための取組みを、積極的に進めているところは評価する。



議案第56号 平成26年度広陵町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

採決結果 賛成多数で認定

反対討論 今年度1m処理費用を110円から130円に値上げしたが、借金返済のためには更なる値上げを部長は公言した。もつと努力できることがあるはずだ。

賛成討論 下水道整備において、必要以上の基準外繰入を抑制し、本来の汚水処理経費に近づけるための料金改正であり、妥当である。

議案第57号 平成26年度広陵町墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について

採決結果 全員一致で認定

議案第58号 平成26年度広陵町学校給食特別会計歳入歳出決算の認定について

採決結果 賛成多数で認定

反対討論 給食費を一気に月額500円値上げし保護者負担を増大させている。

賛成討論 給食代は17年間据え置かれており、安全でおいしい給食の提供につながる改正である。町からの補助もあり、適正な執行。

議案第59号 平成26年度広陵町用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

採決結果 全員一致で認定

議案第60号 平成26年度広陵町水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について

採決結果 全員一致で可決及び認定



平成**27**年
第**5**回
臨時会
9月25日

審議結果は次のとおりです。

議案第62号 広陵町・香芝市共同給食センター建設工事に係る請負契約の締結について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 中学校給食運営委員会は、多数意見として古寺町営住宅北側空地に町内2校を対象とする給食センターの報告を行った。香芝広陵合同の大量給食とは異なる。食育にすぐれ、地産地消を進め、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べられるのは自校直営方式である。

賛成討論 多くの保護者は、中学校給食を望んでいる。香芝市との共同でのメリットもあり、早期に事業を実施すべきであるため賛成である。

議案第63号 広陵町・香芝市共同給食センター厨房機器設備工事に係る請負契約の締結について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 (62号議案の反対討論に同じ)

賛成討論 (62号議案の賛成討論に同じ)

議案第64号 広陵中学校配膳施設増築工事に係る請負契約の締結について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 (62号議案の反対討論に同じ)

賛成討論 中学校に、センターから配送される給食の配膳施設を設ける工事請負で、この契約は賛成である。

議案第65号 真美ヶ丘中学校配膳施設増築工事に係る請負契約の締結について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 (62号議案の反対討論に同じ)

賛成討論 (64号議案の賛成討論に同じ)

定例会と臨時会

町議会には、定期的に開かれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があります。定例会は、条例で年4回と定められており、3月、6月、9月、12月に開催され、町政の方針や予算など、住民生活に重要な事項を審議します。

定例会、臨時会では、はじめに会期(会議を行う期間)が決められ、原則として、その期間中に本会議や委員会を開いて、議案の審議などを行います。

招集

定例会と臨時会は、いずれも町長が招集しますが、臨時会については議員定数の4分の1以上の議員の請求により招集される場合があります。

広陵町議会 平成27年第4回臨時会・第3回定例会・第5回臨時会 議決結果一覧

◆全員一致で可決、同意、承認した議案（議案の内容はP2～7に掲載）

報告第12号 議案第43号 議案第44号 議案第45号
 議案第48号 議案第49号 議案第50号 議案第51号
 議案第57号 議案第59号 議案第60号 議案第61号
 議員提出議案第14号 議員提出議案第15号
 議員提出議案第16号

◆賛否の分かれた議案

○……賛成 ×……反対

議案	堀川季延	谷禎一	吉村眞弓美	坂野佳宏	山村美咲子	竹村博司	奥本隆一	吉田信弘	坂口友良	青木義勝	笹井由明	八尾春雄	山田美津代	八代基次	議決結果	
第4回臨時会 議案第42号 平成27年度広陵町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)	
第3回定例会	議案第46号 広陵町個人情報保護条例の一部を改正することについて	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)	
	議案第47号 広陵町手数料徴収条例の一部を改正することについて	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)	
	議案第52号 平成26年度広陵町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)	
	議案第53号 平成26年度広陵町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)	
	議案第54号 平成26年度広陵町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)	
	議案第55号 平成26年度広陵町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)	
	議案第56号 平成26年度広陵町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)	
	議案第58号 平成26年度広陵町学校給食特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)	
	請願第2号 『集団的自衛権』の憲法解釈と安全保障法制改正案に関する請願書について	○	○	○	×	○	○	○	×	×	議長は採決に 加わりません	×	×	×	○	採 択 (賛7・反6)
	議員提出議案第17号 安全保障法制改正案の慎重審議を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	×	×	○	原案可決 (賛10・反3)
第5回臨時会	議案第62号 広陵町・香芝市共同中学校給食センター建設工事に係る請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○			○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
	議案第63号 広陵町・香芝市共同中学校給食センター厨房機器設備工事に係る請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○			○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
	議案第64号 広陵中学校配膳施設増築工事に係る請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○			○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
	議案第65号 真美ヶ丘中学校配膳施設増築工事に係る請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○			○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)

質 一
問 般

こころが聞きたん!

町政を問う



一般質問を9月7日、8日に行いました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたって理事者に対して、事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めまたは疑問を質すために行います。

広陵町議会は、通告制(質問内容をあらかじめ議長に提出する。)を採用し、一議員、一時間の持ち時間で、質問回数に制限はありません。

なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細については会議録をご覧ください。

会議録は、12月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページに掲載する予定です。

※答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部長の発言を要約して掲載する場合に用いています。



堀川 季延

事件・事故予防の 防犯カメラ設置を

問 大阪高槻市での中学生殺害事件や本年7月に香芝市で起きた女兒誘拐事件、平成16年に起きた平群町の女兒殺害事件など、身近において悲惨な事件が起きており、その防止や抑止効果として防犯カメラの導入が叫ばれている。隣接する香芝市や大和高田市においても、防犯カメラ設置に向け準備が進められている。本町において、町内各所への防犯カメラ導入の考えを聞きたい。

山村町長 防犯カメラ設置については、昨今の犯罪事案を鑑みると、犯罪抑止や早期解決に寄与するところが大きいものと承知しております。香芝警察署長より設置の協力依頼もあり、町内において犯罪が起きやすいところや交通事故が多発するところを中心に、設置することいたしました。

本年度の設置場所については、第1号近隣公園において不審者の出没

や不審火の発生等が多く見受けられ、公園内に3箇所の防犯カメラを設置いたします。本町におきまして、カメラの設置と普及は推進すべき事業であると認識しております。このことから、警察署、大字・自治会、企業と連携を図りながら、安全で安心なまちづくりを実現するため、計画的に事業を進めてまいります。

歴史資料館の 計画の進み具合は

問 第4次総合計画の事業実施計画では、本年度に基本設計を完了し、来年度には実施設計・展示設計を行い、平成29年度で建設工事を実施することとしています。長年、待ち望んでいる施設でもあり、子どもたちにも、本町の歴史文化遺産を学ぶ拠点として、早期実現に向け取り組んでいただきたい。

松井教育長 今後の予定としまして、計画のとおり平成30年度からの開館を目指しております。ただし、重要文化財を展示できる特別展示室の環境整備を行うには、建物内の温度、湿度、照明、空気など保存環境を安定させるため、二夏を越さなければなりません。

今後の会議で意見を集約し、基本計画として取りまとめまいります。



奥本 隆一

**空き家撤去後の土地に対する
固定資産税の減免を**

問 住宅用地に係る固定資産税は、住宅を取り壊して更地にした場合、税負担の軽減措置がなくなり上昇する可能性がある。

長期間にわたり放置され、老朽危険空き家と認定された場合、住宅取り壊しによる土地の税負担の上昇を、減免申請により段階的に最長10年間軽減することを提案する。

山村町長 現行制度では、住宅が建つ土地の固定資産税は、住宅用地の特例措置が適用され、敷地が200平方メートル以下の場合、6分の1に、それを超える場合は、3分の1に軽減されている。しかし、解体をして更地にしてしまうとこの軽減から外れるため、老朽住宅を放置する要因にもなっている。

議員ご提案の減免につきましても重要な課題として、今後の空き家対策と共に研究を行ってまいりたいと存じますので、ご理解をお願いする。

**平日の火災に
町職員が出動を!!**

問 近年サラリーマン世帯が増加し、平日の日に火災が発生した場合、担当する消防団が集まらないと言ふ不測の事態が将来において起こらないように、町職員からも消防団に加入して、火災が発生し消防署から出動命令があった場合、出動出来るような体制作りを構築しておくべきではないか。

山村町長 現在、本町におきましては消防団員を兼職している職員はおりませんが、地域住民と一体となつて防災活動を行うことは、職員として求められる資質であることは承知しており、職員が自発的に消防団活動に参加することは、有意義であると考えている。

本庁の職員の防災体制といたしましては、災害発生時における災害対策本部要員や被害状況調査員をはじめ、職員それぞれが災害対策要員として災害活動に従事いたしますが、日中の消防団活動についても出動団員に不足が生じないよう、町職員には積極的に消防団活動に参加するよう入団を推奨してまいります。



坂口 友良

**介護保険要支援者にボランティアが
サービスを提供していくが質の担保や
安全の確保はどうするのか。**

問 介護保険事業所は今まで通り専門職がサービス提供を行うが、ボランティアが行うタイプは質の担保や安全の確保は何によつて保障されるのか。事故が起きた場合の責任はボランティア側に負わすのか。私も不安があるので、住民ボランティアに安心できる説明を願いたい。

山村町長 住民ボランティアについては主に生活支援サービスの担い手として考えている。危険が生じるようなサービスは想定していないが、保険加入などの必要性を研究していく。

**全国学力テスト本町の結果と
学校支援ボランティアに
どう生かしていくかを問う。**

問 全国学力テストの結果が出たが、その中でも理系の興味下がってきたと気になる事項が示された。我が国は資源小国で国の繁栄は技

術立国にかかっている。本町は企業や研究所、OBも多く人材も豊富な町で、理科クラブ支援なども有力な方法である。今回の結果と本町の教育方向はどう見えてきたかを問う。

松井教育長 本町の小学校中学校の結果は、国語・算数・数学・理科とも全てが小中共に県平均、全国平均を上回る結果となつた。今後は理系離れが進む中、理科クラブ等の支援についても学校と協議しながら進めて参りたい。

**幼・保にも学校支援
ボランティア計画は**

問 本町は「教育のまち 広陵」で存在感を發揮している。教育費の投入も限界があるので、町立幼保にも支援願えるところは支援してもらうべきと考えるが町長の考えはどうか。

山村町長 現在ボランティア登録者は、小学校で118名である。図書室での本の読み聞かせや、家庭科の授業での担当教員の補助などの支援をいただいている。子ども達の教育がより良いものになると認識している。幼保においても学校支援ボランティアの積極的な拡充に向けて努力していく。



吉田 信弘

防犯カメラ設置の考えは

問 香芝市は、8月11日、7月に起きた私立小学校6年生の女児誘拐事件を受け、「市内の約10ヶ所に防犯カメラを設置する方針を固めた。」と新聞に掲載があった。

市は、「防犯カメラが早期発見、保護につながった。」としている。

また、8月13日には、大阪で中学1年生の男女2人の死体遺棄事件があり、数日後に容疑者の男が逮捕されたが、逮捕のきっかけは、防犯カメラに映った映像が確実な証拠となった。

特にお子さんをお持ちのご家庭は心配されており、広陵町においても、年次計画をもって防犯カメラの設置を進めていただきたいが、どのようにお考えか。

山村町長 香芝市が、このたびの女児誘拐事件を受け、防犯カメラを設置されることは承知しております。防犯カメラは、犯罪の抑止や犯罪

の早期解決をはじめ、色々な面で効果があることから、本町では、役場庁舎・さわやかホール・はしお元氣村・箸尾駅前駐車場に設置しており、本年度も当初予算において、新たに3基の防犯カメラを設置するための予算措置を行い、現在、設置に向け準備を進めています。

本年度は、時計台公園、広陵運動公園に設置いたします。

また、来年度についても、各学校や幼稚園等への設置を進めるよう教育委員会に指示をしたところです。

さらに町では、開発事業を行う事業者に対し、開発事前協議の段階において防犯カメラを設置していただくよう協力を求めています。

今後も町内全域を網羅するには、計画的に進めることが必要であり、警察署や関係団体と連携を図り、事業費についても補助金を活用するなど、年次計画をもって順次進めてまいります。



坂野 佳宏

通称「特区」の基礎調査の実施について

問 平成18年に町主導型で区域指定され、多くの住宅が建築され人口減少に歯止めが掛かっている。

平成26年の質問で、当面見直しは考えていないと回答を受けているが、線引きと同じ目線で一体として考えて行かないといけない。

地方創生の人口計画にも大きく関連するものであり、実態把握のための基礎調査が必要である。所見をお聞きたい。

山村町長 この制度の本来の目的どおりの動きになっていませんが、人口増加という成果として表れています。しかし、開発区域から出る集中豪雨の雨水により、従来の集落内にある水路が増水するなど課題も出ています。

今後は、議員のご意見のとおり指定区域の実態を把握し、在来地域住民の方が安心して生活出来るよう調査して参りたい。

開発地の帰属出来ない道路の維持管理について

問 約20年以前の開発道路が町に帰属されないまま業者倒産により、区から要望しても維持管理を拒否されている。

根本原因は、法令どおり強制的に帰属手続きをしなかつた行政責任である。

痛みの激しい道路を早急に舗装修繕を行って頂きたい。

山村町長 議員指摘の件について、まずは、町内にどれだけのそのような道路が存在し、何が問題か整理した上で関係者の協力を得ながら順次適法に処理し、町道とするために調査を進めて参ります。

問 先延ばし答弁は理解出来ない。

開発道路は公の道路である。水道管が破裂してもほつて置くのか。当時帰属は完全人居後として申出を先延ばしする方針であった。私の見解は町が管理する立場にあると考える。

山村町長 至急、町道認定するよう担当に指示したい。法的に訴えあつても私が受けて対処したい。